

令和元年度 山口県知的障害者福祉協会部会研究報告書

部会名 (支援スタッフ研究会)

下関圏域代表者名 (吉中 智治)

研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護について学ぶ ・各圏域の取り組みを知り、支援のヒントを探る 				
研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 事業所ごとに権利擁護の取り組みを紹介し、利用者支援に繋げる ◇ 圏域内での繋がりを強固にし、課題や悩みなどを共有する 				
部会 開 催	回	開 催 日	場 所	会 場 名	備 考
	1	8月2日	下関市	第二くすの園	10名参加
		【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・県支援スタッフ研究会に向けて提出するアンケートの選出 ・事業所見学 (第二くすの園) ・情報交換 (権利擁護の取り組みについて) ・今後の日程検討 			
	回	開 催 日	場 所	会 場 名	備 考
	2	9月28日	下関市	下関ロイヤルボウル	44名参加
		【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの支援の息抜きや事業所間での情報交換を目的として実施した。ボウリングは事業所が異なるレーンになるように振り分け、ボウリングをしながら他事業所との交流と情報交換を図ってもらった。また、ボウリング終了後は、参加者を募って交流会を行った。 			
	回	開 催 日	場 所	会 場 名	備 考
3					
	【内容】				

令和元年度支援スタッフ研究会第一回下関圏域会議

◎テーマ ～権利擁護について学ぶ～

各事業所で実施している虐待防止に向けた取り組みの紹介をした。

1、第二くすの園

① 権利や虐待についての理解を深める（利用者向け）

障害者虐待防止法についてわかりやすく説明し、内容を理解してもらうことで、利用者自身が虐待に関しての意識を高めていく。利用者が情報を理解しやすいよう紙芝居、人形劇、動画などを用いて伝えた。利用者が親しみやすい伝え方を工夫することで、興味を示してくれる方もいた。また、虐待について考え、伝えていく中で、日ごろの支援を振り返る良いきっかけになった。

② 障害者福祉の変遷と現行制度について学ぶ

障害者を取り巻く施設や制度が、戦後から現在に至るまでどのような経緯をたどってきたのか。また、近年めまぐるしく改正がなされている法制度について、その内容と課題について、実際に知的障害福祉に携わるものとして改めて学んでいく。障害者総合支援法に至るまでの過程を学び、成年後見制度などの現行制度への理解につなげることができた。

③ ケース会議

職員数グループに分かれ、事例について話し合い、支援において何が必要なのかなど、見識を深める。また、日ごろの支援について振り返る。事例について職員間で議論していく中で、日ごろの支援における利用者への対応や配慮がきちんとできているか、再確認することができた。

2、くすの園

① 呼称について

毎年8月に利用者へアンケートを取り、どのように呼ばれたのか、逆に呼ばれたくない呼称の確認し、意思決定して頂いている。

② 毎月の会議

ケースや事例検討などして、対応出来る限り共通理解を深めている。また、色々な角度からの意見も出るので参考になる。

3、員光園

① カメラの設置

利用者が転倒し手のひらを骨折してしまう事例があった。事故が起こってもカメラで映像を保存しておけば証拠になる。また、カメラがあることで日ごろの支援で丁寧な口調や

態度を心がけることができる。

4、安岡苑

① 毎月の会議

月に1回会議を実施し、人間らしい生活を送るなどのテーマで話し合いの場を設けている。

5、大藤園

① 目標の振り返り

目標を立てて、週に1度振り返りと月末には全ての目標に対して振り返りを行っている。職員一人一人が目標を意識し振り返ることで利用者の方への接し方や話し方などを見直すことができる。また、目標を振り返ることで良い点、悪い点に気付くことができる。

② 事例会議

各グループでの事例や支援の中で困っていること、悩みなどを会議で話すことにより、客観的な意見を得ることができる。また、情報を共有することもできる。

③ ホワイトボードを使って情報共有

各グループの気づきなどを皆の目につくホワイトボードに貼ることで、担当利用者以外の支援の内容を円滑に共有することができる。

6、はたぶ園

① 人権などの研修会を実施

② 担当者会議

家庭内で虐待があった場合など、児相へ報告したり、家庭訪問をしたりして虐待防止に努めている。

③ 職員間での勉強会

職員で子供への対応について全員で勉強会を行っている。例えば、否定的な言葉を使わず、肯定的な言葉を使う。何かをしたら途中でも褒めるなど。

7、はまゆう園

① 会議

会議を実施し、具体的にどのような事が虐待にあたるのか職員で共通認識をもち、虐待についての理解を深める。

8、なごみの里

① 虐待防止チェックリストの配布

虐待防止のため定期的に“虐待防止チェックリスト”を全職員に配布し提出を義務付け

ている。集計したものは回覧し職場の現状を全職員が把握できるようにしている。また、虐待かな？と思われる行為があれば、上司に報告がいき個別に話をする機会が設けられる。

② 成年後見制度の活用

③ グループ会議

月1回、グループごとで会議を行い、各々の担当利用者の支援のやり方や困ったことを話し合い、グループで解決するようにしている。

9、じねんじょ

① 呼称について

② 話し方、コミュニケーション方法について

見たり聞いたりして、おかしいと感じると場面があればきちんとと言える環境づくり。

③ ケース会議